

「国際日本研究」コンソーシアム・法政大学国際日本学研究所・アルザス欧州日本学研究所
共催事業

2020年度 国際新世代ワークショップ

若手研究者派遣 公募要項

(「国際日本研究」コンソーシアム会員機関対象)

1. 概要

- 今後の国際日本学（国際日本研究）のあり方を探るために、「国際日本研究」コンソーシアム（CGJS）は、法政大学国際日本学研究所（HIJAS）およびアルザス欧州日本学研究所（CEEJA）との共催で、2020年11月6日―8日、CEEJAにおいて、人文社会科学分野で個性的な日本研究を展開しているヨーロッパおよび日本在住の若手研究者に参集していただき、最新の研究成果に加えて、自身の研究状況の問題点についても語っていただくワークショップを実施します。日本から、助言者として、人文社会科学分野で日本研究を手がける研究者が参加し、基調講演等を通じて、若手研究者たちと対話を深める予定です。
- なお、本ワークショップにおける募集は、「国際日本研究」コンソーシアム（以下、コンソーシアム）会員機関が対象となります。

2. ワークショップ テーマ

- 「越境する日本語・日本文化——言語文化の多様性をもとめて」

3. 採用人数

- 若干名

4. 場所

- アルザス欧州日本学研究所（フランス・キンツハイム）

5. 日程

- 令和2（2020）年11月6日（金）～11月8日（日）
[旅行日程予定：11月5日（木）～11月10日（火）]

6. 募集する内容

- 一人あたり約60分間（質疑応答含む）で研究報告を行っていただきます。
- 使用言語は、日本語または英語です。（ただし、質疑応答は英語になる場合があります。）

7. 応募資格

- 本ワークショップ実施日時点において、コンソーシアム会員機関（正会員、準会員のいずれも可）に所属する者で、①大学院生及び②博士号取得後8年未満又は40歳未満のいずれかに該当する者。
- 応募資格を満たさないことが後日判明した場合、採択が取り消される場合があります。

8. 支援内容

- 採択者には、本ワークショップに参加する際の旅費を国際日本文化研究センターの諸規定に従い、予算の範囲内で支給します。ただし、共催機関が会期中の宿泊施設（3泊）・食事（9食）を提供する予定です。

9. 注意事項

- 本ワークショップは、外務省が公表している海外安全情報（<https://www.anzen.mofa.go.jp/>）において、フランスの感染症危険レベルが、2020年10月1日時点でレベル2に下らない限り、現地において実施しません。また、このほか主催機関が現地における開催への渡航を危険と判断した場合には実施しないことがあります。
- 現地への渡航が可能である場合でも、参加者には帰国後2週間の自己隔離措置が求められる場合があります、これに係る手続きや費用は上記8.に記載の支援内容の旅費には含まれません。
- 2020年10月1日時点で、フランスの感染症危険レベルがレベル3のままである場合等、現地での実施が困難な場合には、本ワークショップは部分的または全面的にオンライン形式にて開催します。
- 応募者の所属機関が設ける渡航制限については、応募者本人が必要な確認や手続きを行ってください。
- 本ワークショップは CEEJA への現地参加を原則としていますが、（現地への渡航制限以外に）やむを得ない個人的な事情があつて渡航できない場合には、オンラインでの参加を認めます。

10. 応募方法

- 応募者は、別紙の趣旨文およびヨーロッパ研究者対象の英文募集要項を確認した上、下記の応募書類を提出してください。

(1) 申請手続

申請は、所定の様式による申請書を提出してください。

(2) 応募書類及び申請期限

- ・2020年度国際新世代ワークショップ 申請書

- ・略歴および研究業績（論文・著作）
- ・報告要旨（日本語あるいは英語、800字あるいは300ワード。ただし、発表言語が日本語の場合には要旨を英語で記すこと）

※ 略歴および研究業績、報告要旨については様式自由とします。

- 申請書一式を令和2（2020）年8月31日（月）必着にて、押印またはサインの上、PDF形式にてメールにより提出してください。提出のあった応募書類は返却いたしません。

（3）提出先・問い合わせ先

「国際日本研究」コンソーシアム事務局
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国際日本文化研究センター 管理部 研究協力課 国際交流係
住 所：〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地
T E L：(075)335-2073（直通）
F A X：(075)335-2092
E-mail：cgjs@nichibun.ac.jp

1.1. 採否の通知

- 令和2年9月中旬に採否の結果を「国際日本研究」コンソーシアム委員会委員長から申請者宛に通知します。